

公共をとりもどして 社会保障・教育の拡充を

公的・公立病院をなくさないで 病床削減政策の転換を

国がすすめてきた公立・公的病院の統廃合・病床削減による医師・看護師の削減、医療費抑制政策の結果、新型コロナウイルス感染症の拡大時に「救えるいのちが救えない」状況となりました。統廃合や病床削減政策を転換させ、国の財政を含む支援で医療体制の充実と医師・看護師の増員で安全・安心の医療を実現しましょう。

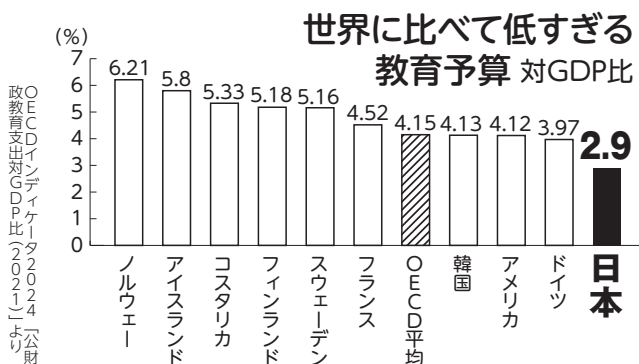
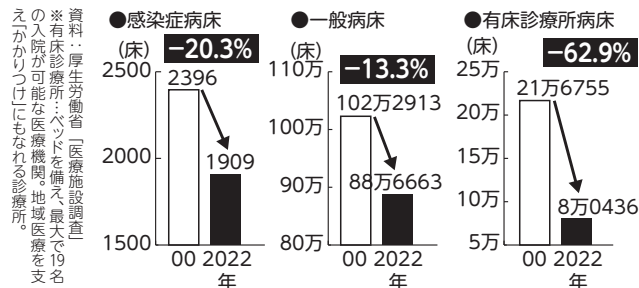
教育予算とせんせいふやして 教育の無償化を

全国で必要な先生が学校に配置されず、教育に穴があく状況が広がっています。そのことが教職員の長時間労働にますます拍車をかけています。諸外国並みに教育予算を拡充し、先生がしっかりと子どもたちに向きあえる教職員定数の改善と、高校や大学の授業料を無償化し、誰もが安心して教育を受けられる教育条件整備が必要です。

マイナ保険証の強制やめて 現行の保険証を残して!

政府は健康保険証の新規発行を2024年12月2日に終了し、マイナンバーカード(マイナ保険証)への一本化をすすめています。個人情報の流出などをおそれ、マイナ保険証への移行を望まない人は公的保険診療から遠ざけられ、いのちとくらしが脅かされるおそれがあります。誰もが安心して医療を受けられるよう、現行の健康保険証を残すべきです。

減らされてきた病床数



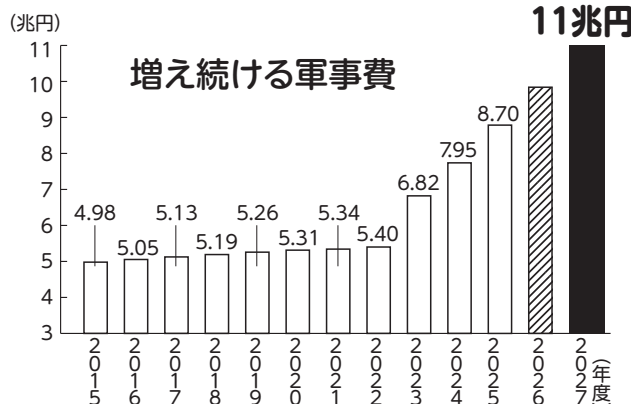
ケアワーカーの賃上げと 労働条件の改善を

医療や介護、福祉の現場は深刻な人員不足の一方で、医師以外の多くの職種の賃金水準は全産業を大幅に下回り、過酷な労働に見合わないものとなっています。国民全体のいのちとくらしを守るために必要なケアワーカーの大幅賃上げと処遇改善は急務です。

低く抑えられた ケアワーカー の賃金

全産業平均に比べて約7.5~8.3万円も低い(月額)年間(12カ月)で約90万円以上の差に

資料：福祉保育労の調査より



各年度の当初予算額から作成。※2025年度は予算案

いのちとくらし・平和を守る 政治への転換を

日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核兵器使用の危機が高まるなか、世界に平和を求める強いメッセージとなりました。しかし、唯一の戦争被爆国である日本では、政府がすすめる大軍拡路線のもと、軍事費の増大と南西諸島などの軍事基地化が続いています。平和外交の徹底で軍事費を削り、教育や社会保障の拡充などいのちとくらし・平和を守る政治へ転換すべきです。